

自動車関連土日操業、木金休業に関する豊田市の対応について

こども園 休日保育の拡大について

1 目的

自動車関連企業の「7～9月の土日操業」に伴う保育ニーズに対応し、子育て世代が安心して働くことのできる環境を提供するために休日保育を拡大する。

土日保育利用希望調査（結果）

単位：人

	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
全園児数	126	1,370	1,758	2,616	2,609	8,479
土曜日利用見込	73	646	485	529	466	2,199
日曜日利用見込	40	319	231	232	198	1,020

※ 調査期間：5月25日（水）～27日（金）

※ 公立・私立こども園の全保護者を対象に実施（回収率97.4%）

2 拡大内容

現在実施している休日保育事業（日曜日・祝日）の指定園を以下のとおり拡大する。

[現在]

指定園 5園
[公立こども園]
・飯野
[私立こども園]
・みずほ
・わかば
・いぼばら
・丸山

[7～9月]

指定園 22園
[公立こども園]
次の13園を追加
梅坪、根川、宮口、平井、益富
大林、高嶺、渡刈、竹村、堤
若園、越戸、伊保
[私立こども園]
次の4園を追加
こじま、東海、東保見、浄光
※上記4園の私立園は自園児童の受入を優先

(裏面「休日保育指定園」参照)

—受入定員—

(公立こども園) 定員は設けず、希望者を受け入れる。

ただし、第一希望園への申し込みが多数の場合は、調整を行う。

(私立こども園) 現在の概ね20人から概ね30人程度。

3 (公立こども園) 指定園選定のポイント

- ① 利用希望者数が多い園であること
- ② 地区別の配置バランスを考慮
- ③ 自動車関連工場との配置バランスを考慮
- ④ 周辺私立こども園の受け入れ状況を考慮

4 申し込み方法

〔利用希望が、公立こども園の場合〕

- (1) 書類配布／申込先： 平日通っている園
- (2) 受付期間：(1次受付) 6月8日(水) から6月16日(木)
※ 6月17日(金)以降は、利用日の2週間前まで

〔利用希望が、私立こども園の場合〕

- (1) 書類配布／申込先： 実施園(みずほ・わかば・いぼばら・丸山・こじま・東海・東保見・浄光)
- (2) 受付期間： 6月8日(水) から利用日の2週間前まで(随時)

5 利用上の注意

- (1) 利用期間：平成23年7月から9月まで(期間限定)
- (2) 利用時間：午前7時30分から午後7時まで
- (3) 保育要件：保護者が仕事などで、休日に児童を保育できない場合に限る。
- (4) 利用料：1日当たり0歳児 3,500円、1・2歳児 2,500円、3歳児以上 1,500円
- (5) 昼食：弁当持参
- (6) その他：※ 公立こども園では、他園の園長・主任・保育師が交代で保育を実施。
(平日に担任している保育師による保育と異なる。)
※ こども園に通っていない方は、直接、利用希望のこども園に申し込み。
※ 次の2日は、現在の指定園5園のみで受け入れる。
8/14(日)、9/23(金・「秋分の日」)

6 土曜日保育について

- (1) 利用見込：(公立こども園) 1,515人、(私立こども園) 684人
- (2) 対応策：現行制度の土曜日保育で、保育師を増員配置して対応。
- (3) 実施園：(公立こども園) 36園、(私立こども園) 13園
※公立こども園は地区のバランスを考慮し、大草こども園(小原地区)、杉本こども園(旭地区)の2園を追加

7 今回の休日保育及び土曜保育に伴い想定される経費(概算)

歳入：約 29,000 千円 歳出：約 109,000 千円

8 その他

【放課後児童クラブについて】

- ・7～9月の限定的な対応として、既存の放課後児童クラブのうちの一部で、土・日曜日に開設する。(祝日については、現行制度で実施中)
- ・開設数は、利用希望状況と確保できる指導員数から、開設場所は、利用希望状況を参考に決める。(6月上旬)
- ・小学校経由で、小学1～3年生の保護者に利用希望調査を実施中(6月3日期限)。
- ・利用負担金を1,000円/日とする予定(就学援助世帯は減免)。

高齢者・障がい者 想定される影響とその対応について

【結論】

土日稼働に伴い、サービスの利用日を土日に変更を希望する人はわずかであり、既存の土日に稼働する民間事業所での受入により対応できるため、土日の受け入れについて特別な体制はとらない。

(高齢福祉課関係)

サービス種別		影響	対応	内 容
介護保険サービス	居宅サービス 通所介護 訪問介護 通所リハ 訪問看護 等	有	可	【影響《低い》】 土日に利用がシフトされる利用者 37名(約3700名) 【対応《可能》】 受入可能事業者 25事業者 約200名以上
	施設サービス	無	—	入所施設であるため影響なし。
その他	地域包括支援センター	無	—	平日休業に伴い、相談の利用が増える可能性あり。
	配食サービス	無	—	下山、稲武地区は、人材不足のため土日の対応は困難であるが、配食が必ず必要となる利用者はいない。
	軽度生活援助員	有	可	【影響《低い》、対応《可能》】 週1回のサービス利用であるため、利用調整が可能である。
	認定審査関係	無	—	医療機関が診療日を変更する予定ではないため、審査会の開催への影響はない。認定調査も影響なし。

(障がい福祉課関係)

サービス種別		影響	対応	内 容
障がい福祉サービス	居宅サービス 居宅介護 移動支援 等	有	可	【影響《低い》】 土日に利用がシフトされる利用者 10名(約550名) 【対応《可能》】 現在利用中の事業所で対応可能
	通所サービス 生活介護 日中一時支援 等	有	可	【影響《低い》】 土日に利用がシフトされる利用者 5名(約830名) 【対応《可能》】 現在利用中の事業所で対応可能
その他	緊急一時保護 (社会福祉協議会)	有	可	【影響《低い》】 現在のところ申し込みや問合せは無いが、サービスで受け入れきれない場合に利用希望者がある可能性がある。 【対応《可能》】 受け入れ可能人数 3～4名程度
	認定審査関係	無	—	医療機関が診療日を変更する予定ではないため、審査会の開催への影響はない。認定調査も影響なし。

トヨタ自動車(株)の土日出勤による豊田市基幹バスの対応について

豊田市基幹バスの対応については、特にトヨタ自動車本社地区への通勤者が多い、「豊田東環状線」、「土橋・トヨタ記念病院線」の2路線について検討する。

1 対象2路線の平日の利用状況と、祝日の状況

2路線の、平日ピーク時(7~8時台)の利用は107人/日であり、土休日ダイヤでもトヨタ自動車従業員の利用に対応可能である。

路線名	土休日ダイヤでトヨタ本社地区に7~8時台到着バス台数(定員)	トヨタ自動車従業員の朝ピーク時の平日利用者数
豊田東環状線	4便(75人) (平日8便)	72人
土橋・トヨタ記念病院線	5便(36人) (平日8便)	35人

また、トヨタ自動車出勤日の祝日は、通勤シャトルバスを増便して対応されたが、バス利用者は、平日と比較して減少しており、かつ当該2路線の基幹バス利用者も平日と比較して少ない。

3 トヨタ自動車の通勤に対する土曜日対応(トヨタ自動車総務部から聞き取り)

- ・ 市や交通事業者に対してトヨタ自動車単独で運行に対する依頼は行わない。
- ・ 通勤シャトルバスは全便平常運転で、基幹バスのカバー運転に当たる増便はしない。

4 まとめ

トヨタ自動車からの依頼もなく、かつ現在の当該2路線の利用者数の輸送が十分可能であることから、土日における基幹バス増便(平日ダイヤ)の対応は特段必要ないとする。